



エーハイムツインフィーダー

観賞魚用自動給餌器

取扱説明書 / 保証書



このたびは、エーハイムツインフィーダーをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。安全にお使いいただくために、取扱説明書をよくお読みください。また、この取扱説明書は保証書も兼ねています。保証書に必要事項が記入されているか必ずご確認ください。この取扱説明書はいつでも確認できるよう必ず保管してください。

日本総代理店
神畑養魚株式会社 用品部 〒670-0073 兵庫県姫路市御立中3-3-20

【製品に関するお問い合わせ】
Tel.079-297-5420 Fax.079-293-6467
 ホームページアドレス <http://www.kamihata.co.jp>

エーハイム製品専用ページ <http://www.eheim.jp>

使用乾電池 | 単3形アルカリ乾電池 1.5V×4本

《無料修理規定》

- 保証期間内に取扱説明書、注意書き、添付ラベル等の注意書きに従って正常な使用をしたにもかかわらず、故障した場合は、無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合は、本製品と本書をご持参、ご提示の上お買い上げの販売店様にご相談ください。
- ご転居等でお近くにエーハイム製品取扱店がない場合は、弊社カスタマーサポートにご相談ください。
- 保証期間内で次の場合は保証対象外となります。
 - イ 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - ロ 本書にお買い上げ年月日、販売店名などの記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - ハ 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変による故障および損傷。
 - ニ お買い上げ後の移動、落下、落水などによる故障および損傷。
 - ホ 観賞魚水槽以外に使用された場合の故障および損傷。
 - ヘ 飼育動物による故障および損傷。
 - ト 付属品や消耗品（乾電池、フードスクリューなど）における、消耗などによる交換。
 - 飼育動物の病気や死亡、水草や海藻・海草の枯れなどの補償。
 - 新品・中古品に関わらず、オークションやリサイクルショップなどで購入された場合、保証いたしかねる場合があります。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

《注意》

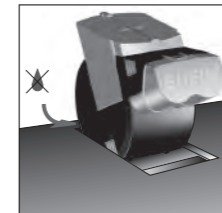
- 使用中、何らかの異常が発生した場合は使用を中止し、生体の保全と、安全のための適切な処置をおこなってください。（生体の補償はいたしかねます。）
- ご質問や不明な点がありましたら、お買い上げの販売店様または弊社カスタマーサポートにお問い合わせの上ご使用ください。わからないままご使用になることは絶対におやめください。
- この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

使用上の注意

- 本製品は観賞魚用品です。他の用途には使用しないでください。
- 本製品は屋内専用です。屋外では絶対に用しないでください。
- 本製品は、平らで安定した場所に設置してください。
- 本製品を設置する際は、付属の固定テープを使用してください。（転倒、落下の恐れあり）
- 本製品を濡らしたり、水中に落としたりしないでください。（故障の恐れあり）
- 水しぶきのかかる場所、湯気など湿気の多すぎる場所、ほこりの多い場所などでは使用しないでください。（故障の恐れあり）
- 製品に水がかかった場合は使用を中止し、再使用しないでください。（故障・誤作動の恐れあり）
- 製品に破損のある状況では使用しないでください。（ケガの恐れあり）
- 使用しないときは電池を外してください。（故障・電池の液漏れの恐れあり）
- 本製品を分解・改造しないでください。（故障の恐れあり）
- 本製品の仕様に適したエサを使用してください。
- 本製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。（故障の恐れあり）
- 小さなお子様には操作させたり、触らせたりしないでください。
- 定期的に正常に作動しているか確認してください。
- 作動中のフードスクリューには触らないでください。（ケガ、故障の恐れあり）
- 本製品のご使用時における、生体の死亡などの補償はいたしかねます。予めご了承ください。
- 長期間使用しない場合は、電池を取り外してください。電池の液漏れによる故障は受け付けません。
- 本製品を処分する際は、お住まいの地方自治体の定める方法に従ってください。
- 電池を処分する際は、お住まいの地方自治体の定める方法に従ってください。

その他のご注意・お願い

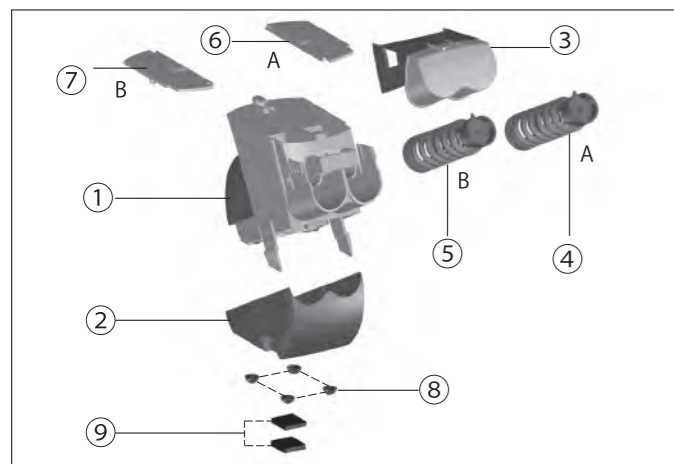
- 本製品に防水加工はされておりません。水洗いは絶対にしないでください。
- お手入れの際は、熱湯、アルコール、シンナー、洗剤などは使用しないでください。製品の品質劣化、生体への悪影響の恐れがあります。ぬるま湯に浸して固く絞った布などを使用してください。（変質、変色、故障の原因）
- 淡水水槽に比べ、海水水槽で使用した場合、製品の劣化が早まる可能性があります。こまめにメンテナンスをおこなってください。
- 電池を交換する際は、全部まとめて入れ替えてください。新しい電池と古い電池、種類の異なる電池を使用すると、液漏れを起こす恐れがあります。
- 他の人に譲り渡す場合は、必ずこの取扱説明書も一緒にお渡しいください。



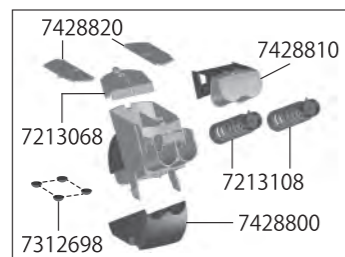
P1

各部の名称

※本説明書のイラストはイメージです。

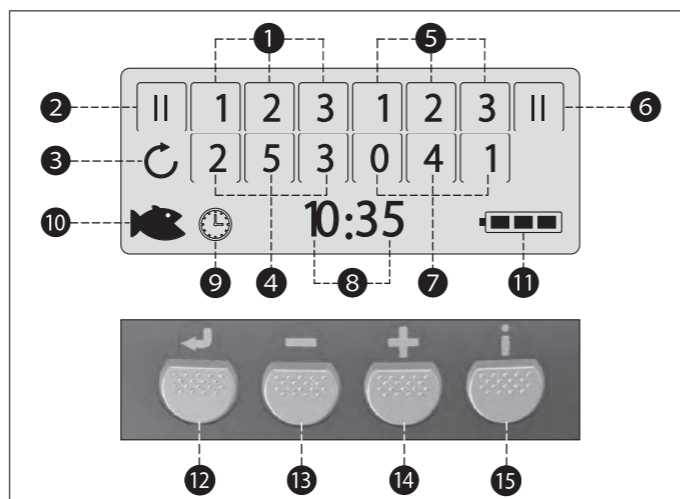


- 本体（ディスプレイ付ドライブユニット、フードタンク）
- 電池ケース
- フードスクリューカバー
- フードスクリュー A
- フードスクリュー B
- フタ A
- フタ B
- クッションラバー（緩衝材）
- 固定テープ（面ファスナー）



P3

ディスプレイの表示



- 給餌設定番号（フードスクリュー A）
- 停止表示（フードスクリュー A）
- フードスクリュー回転表示（フードスクリュー A・B 共通）
- 回転数表示（フードスクリュー A）
- 給餌設定番号（フードスクリュー B）
- 停止表示（フードスクリュー B）
- 回転数表示（フードスクリュー B）
- 時計表示
- 時計設定表示
- 給餌設定中表示
- 電池容量表示
- セットボタン
- マイナスボタン
- プラスボタン
- 確認ボタン

P4

使用方法 使用前の準備、給餌量の確認

- 本体と電池ケースを取り外してください。
 ※電池ケースを取り外す際は、側部にある透明部分（引掛かり）を両側から押しながらかき出して外してください。



透明部分

- 電池ケースに電池をとりつけてください。

- 電池ケースの底部に、クッションラバー（4箇所）および固定テープ（面ファスナー）の1枚を電池ケースの底部に貼り付けてください。残りの1枚は、設置する場所に貼り付けてください。

- ※固定テープは本製品の転倒や水槽への落下を防ぐためのものですので、必ず貼り付けてください。
- ※設置の際は、必ず水平で安定した場所であることと、給餌の妨げがないことを確認してください。

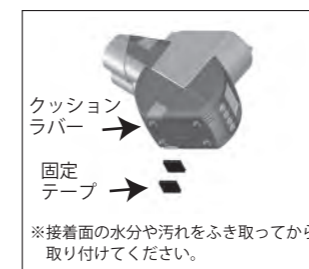


スライド

押す



単3形アルカリ乾電池（1.5V）4本
 ※電池の+、-の向きに注意してください。
 ※充電式の電池は使用しないでください。



クッションラバー

固定テープ

※接着面の水分や汚れをふき取ってから取り付けてください。

P5

製品の特長

- 2種類のエサを給餌可能
 容量 80ml のフードタンクを2つ搭載しています。
- ボタン操作で給餌プログラムを設定
 各タンクそれぞれにおいて、給餌時刻、給餌回数（1日1～3回）、給餌量（9段階）の設定が可能です。より自然な給餌をおこないたい場合、給餌時刻をランダムにする設定も可能です。
- 換気機能付
 スクリュー回転時に内蔵ファンが回転し、タンク内の換気をおこないます。 ※内蔵ファンは、スクリュー回転時のみ作動します。

製品の仕様

電源方式：乾電池式（単3形アルカリ乾電池×4本）
 製品サイズ、重量：W74×D163×H113（mm）、約440g（電池込）
 ※この製品は、改良の為予告なしに仕様・デザインを変更することがあります。予めご了承ください。

エサについて

- 粉末・顆粒・粒・フレークなど、いろいろな種類のエサが使用できます。ただし、以下のエサにおいては、本製品の使用が適さない場合があります。
- 1.5mm以下の固い粒エサ（給餌停止、故障の恐れあり）
- 8mm以上のエサ（給餌停止、故障の恐れあり）
- 5mm以上の大きいサイズのフレーク
 大きいサイズのフレークは基本的に使用可能ですが、小さいサイズに比べて1回の給餌量が極端に少なくなります。また、ディスクやスティックなどの特殊な形状のエサにおいては、給餌量のばらつきが大きくなりますので予めご了承ください。また、本製品は給餌後に自動でカバーが閉まる仕様になっています。微細な粉末のエサを使用すると、カバーが閉まる際にエサが通常より広範囲に飛散する場合がありますので予めご了承ください。

P2

- フタA、およびフタBをあけ、フードタンクにエサを入れてください。エサを入れた後、フタをしめてください。

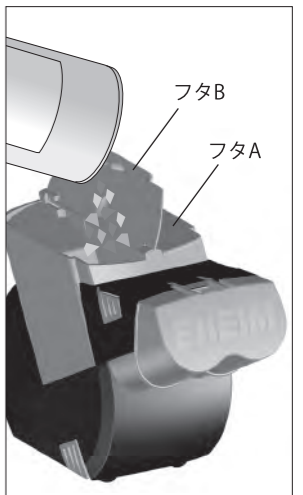
※以下のエサにおいては、本製品の使用が適さない場合があります。

- 1.5mm以下の固い粒エサ、または8mm以上のエサ（給餌停止、故障の恐れあり）
- 5mm以上の大きいサイズのフレークエサ（給餌量低下の恐れあり）

- エサを入れた後、マイナスボタンおよびプラスボタンをそれぞれ押して、フードスクリューにエサを充填してください。（各1～3回程度回転させると、次の回転からエサが出るように充填されます。）

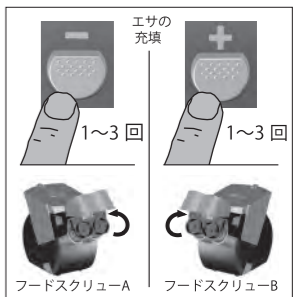
- 【重要】プラスボタンを1回押し、フードスクリューAの1回転で出るエサの量を確認し、何回転で普段手で与えている量と同じ量になるか確認してください。また、マイナスボタンを押して、フードスクリューBも同様に確認してください。

※本製品の給餌がスムーズに作動しない場合は、本製品の使用を中止するか、エサの種類を変更してください。※エサの種類によって、1回転で出る餌の量は異なります。また、多少ばらつきがありますので、給餌量の確認は入念におこなってください。



フタB

フタA



エサの充填

1～3回

1～3回



フードスクリューA

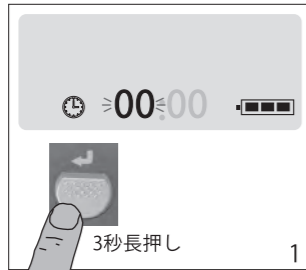
フードスクリューB

P6

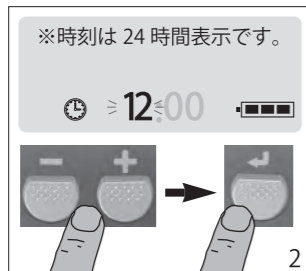
使用方法 時刻の設定

※電池を入れ替えた場合、設定を変更したい場合、リセットをおこなった場合は、すべて以下の手順で設定をおこなってください。

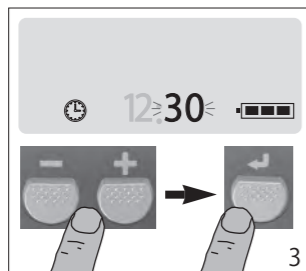
①セットボタンを3秒長押ししてください。時計表示の“時”が点滅します。



②マイナスボタン、プラスボタンを押して、“時”の部分を現在時刻に合わせ、セットボタンを1回押してください。
※プラスボタン、マイナスボタンを長押しすると、数字を早送りできます。



③“分”の部分が点滅します。マイナスボタン、プラスボタンを押して“分”の部分を現在時刻に合わせ、セットボタンを1回押してください。



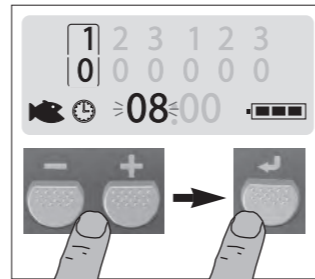
※時刻の設定が完了すると、そのまま給餌プログラムの設定に移行します。

P7

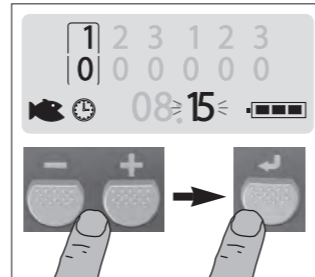
給餌プログラムの設定 (設定中のみ、魚のアイコンが表示されます。)

フードスクリュー A、B ともに1日3回まで給餌時刻とフードスクリューの回転数(給餌量)を設定できます。

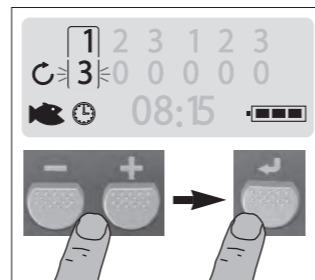
①右図のように、フードスクリュー A の1回目の給餌を設定する表示となります。
1回目に給餌する時刻の“時”が点滅します。マイナスボタン、プラスボタンで給餌したい時刻の“時”を合わせ、セットボタンを1回押してください。



②1回目に給餌する時刻の“分”が点滅します。マイナスボタン、プラスボタンで給餌したい時刻の“分”を合わせ、セットボタンを1回押してください。

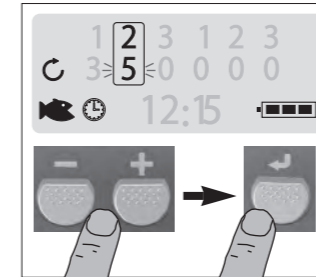


③回転表示 C が点灯し、回転数表示が点滅します。マイナスボタン、プラスボタンで1回目に給餌する際のフードスクリューの回転数(給餌量)を合わせ、セットボタンを1回押してください。(2回目の給餌設定に移行します。)
※フードスクリューの回転数は、0～9回転まで設定が可能です。0回転で設定すると、給餌はおこなわれません。

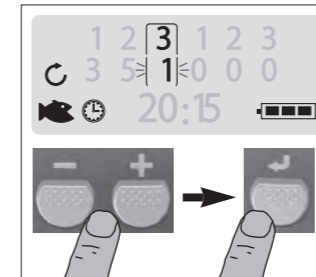


P8

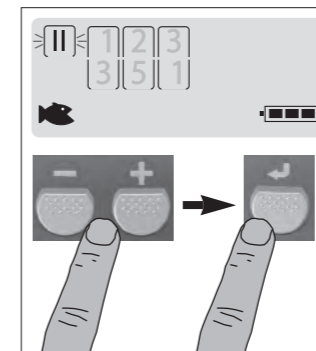
④1回目の給餌設定(①～③)と同様に、2回目の給餌時刻、フードスクリューの回転数(給餌量)を設定し、セットボタンを押してください。



⑤1回目の給餌設定(①～③)と同様に、3回目の給餌時刻、フードスクリューの回転数(給餌量)を設定し、セットボタンを押してください。

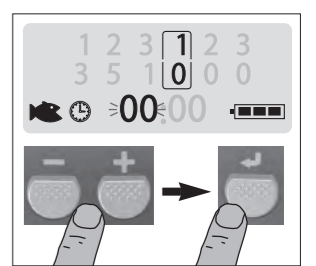


⑥停止表示 II が表示されます。このマークが表示された状態では、6日連続で給餌がおこなわれた後、1日給餌がおこなわれない設定となります。マイナスボタン、プラスボタンを押して停止マークの表示、非表示どちらかを選び、セットボタンを押してください。フードスクリュー A の給餌プログラムが完了し、フードスクリュー B の給餌プログラム設定に移行します。



P9

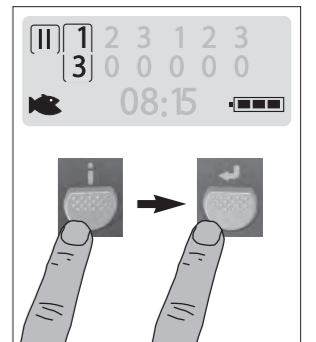
⑦フードスクリュー A の給餌プログラム設定(①～⑥)と同様に、フードスクリュー B においても、3回の給餌時刻およびフードスクリューの回転数(給餌量)を設定してください。フードスクリュー B の設定が完了すると、通常の時刻表示画面にもどり、プログラムによる給餌が開始されます。



※フードスクリュー A およびフードスクリュー B を同時刻に設定した場合、先にフードスクリュー A が回転し、フードスクリュー A の回転が完了すると、フードスクリュー B が回転します。

給餌プログラムの確認

通常の時刻表示の状態、確認ボタンを押すと、給餌プログラムを順番に確認することができます。例えば、右図のように、フードスクリュー A の1回目が表示された状態で、セットボタンを押すと、フードスクリューが3回転します。



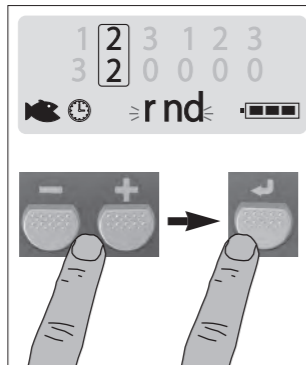
※エサを充填している場合は、選択した設定で給餌されるエサの量を確認できます。実際にエサがでますのでご注意ください。
※確認ボタンを順番に押し続けていき、一巡すると通常の表示画面に戻ります。

P10

その他 給餌プログラム設定について

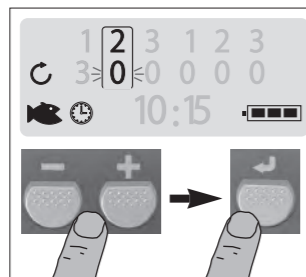
●給餌をランダムにおこなう設定

給餌時刻の設定において、“時”を設定する際、23時の表示からプラスボタンを1回(または00時の表示からマイナスボタンを1回)押すと、“rnd”と表示されます。この状態で設定すると、8時から18時の間でランダムに給餌がおこなわれます。



●給餌回数を減らす場合

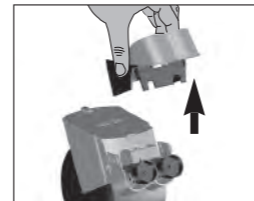
給餌プログラム設定において、フードスクリューの回転数を0に設定して、給餌をキャンセルすることができます。
例：2回目のフードスクリューの回転数を0で入力設定すると、給餌時刻を設定していても、2回目の給餌はおこなわれません。
例：片方のフードスクリューのみ使用したい場合は、使用しないフードスクリューの1回目、2回目、3回目の回転数をすべて0に設定してください。



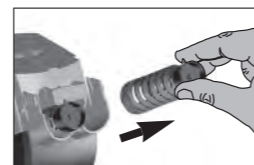
P11

お手入れ メンテナンス

①フードスクリューカバーを上を開き、透明部分を押しながら、上方向にスライドさせて外してください。



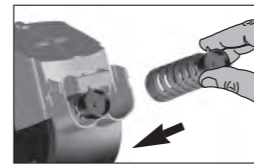
②フードスクリューを本体から抜き取ってください。



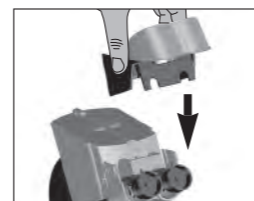
③エーハイムインペラーブラシセット(4009560)などで、フードスクリューおよび本体内部を清掃してください。
※本製品に防水加工はされていません。水洗いは絶対にしないでください。



④フードスクリューを元通りに戻します。同様の手順で、もう片方のフードスクリューも清掃してください。

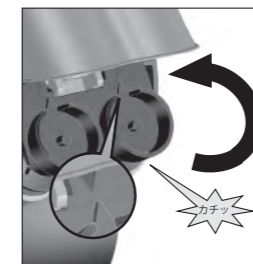


⑤フードスクリューカバーを元通りに取り付けてください。

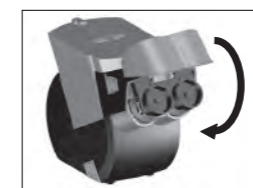


P12

⑥フードスクリューを時計回りにゆっくり回して、“カチッ”と音がる位置で止めてください。



⑦お手入れ終了です。フードスクリューカバーを元にもどしてください。

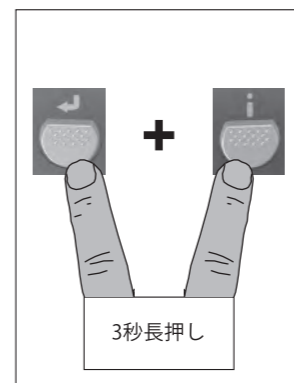


注意

本体および電池ケースは、絶対に水洗いしないでください。故障の原因となります。

プログラムのリセット

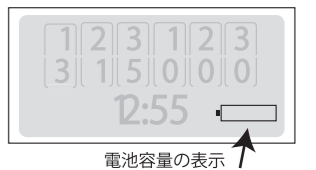
セットボタンおよび確認ボタンを同時に3秒長押しすると、設定したプログラムを初期化することができます。



P13

ディスプレイの表示について

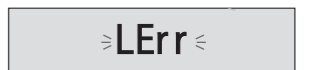
電池切れです。新しい電池に交換してください。



☆電池について☆

※製品に付属している電池は動作確認用です。ディスプレイで電池容量の表示を確認し、必要に応じて新しい電池に交換してください。
※充電式の電池は使用できません。電池容量の表示不良などの不具合の原因となります。あらかじめご注意ください。

エサづまりなどによって、フードスクリューの回転に異常な事態が発生しています。問題を取り除き、マイナスボタンまたはプラスボタンを押すと通常の状態に戻ります。通常の状態に戻らない場合は、修理が必要となります。



フードスクリュー B にエラーが発生



フードスクリュー A にエラーが発生

その他の注意

※必ず、平らで安定した場所に設置してください。フレームレス水槽に設置する場合は、エーハイムフィーディングステーション(4001020 別売)の使用がおすすめです。
※以下のような場合における、エサの補充忘れにご注意ください。
・フードタンクに異なる種類のエサを入れた場合
・1回の給餌量(回転数)の設定が多い場合
・旅行など、長期間家を不在とする場合

外出する際は、事前にフードタンクのエサの量および給餌量(回転数)の設定をご確認ください。

P14